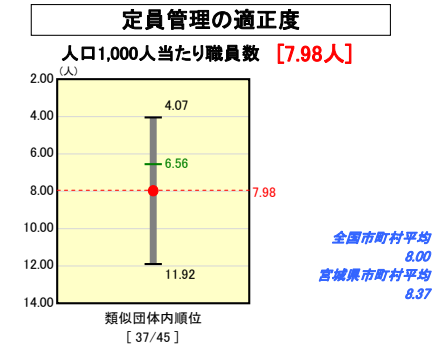
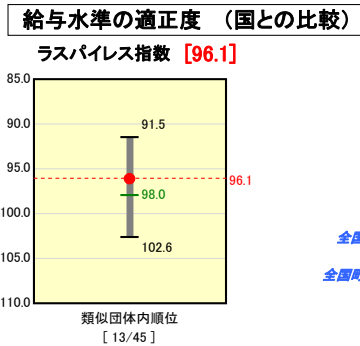
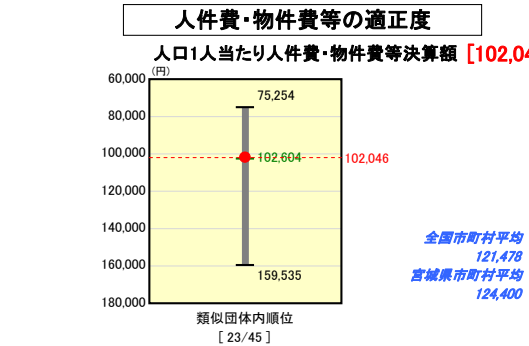
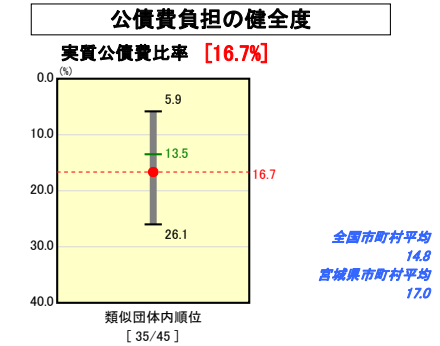
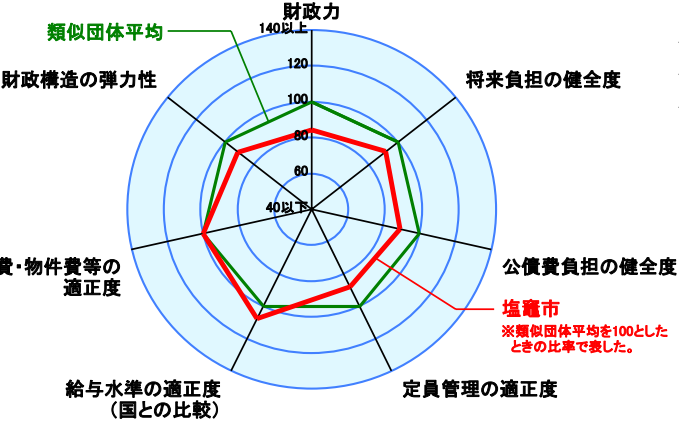
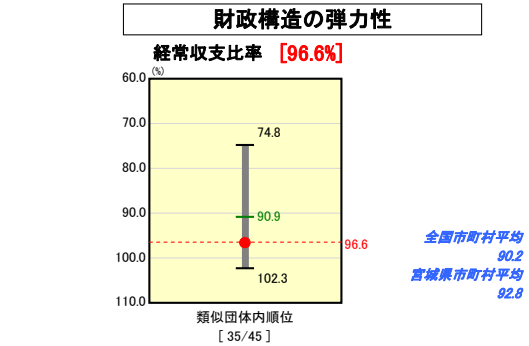
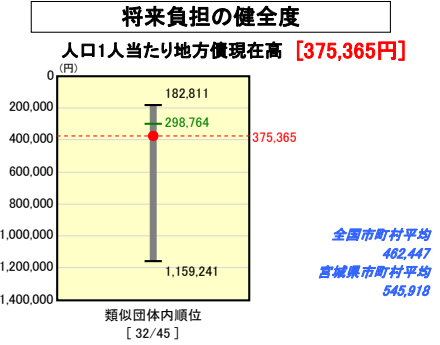
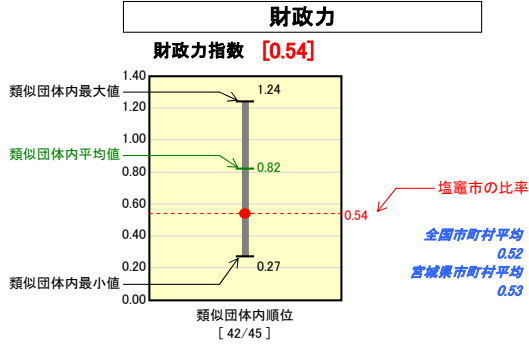


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 宮城県 塩竈市

人口	59,904	人(H18.3.31現在)
面積	17.85	km <sup>2</sup>
歳入総額	19,792,687	千円
歳出総額	19,511,876	千円
実質収支	230,466	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費費弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**■財政力指数**  
・人口の減少や長引く景気の低迷、地価の下落を要因として市税収入が依然低迷しているため、指数が0.54と類似団体内で下位に位置している。また、類似団体と比較して税収の伸び悩みが大きく、数年来下降を続けている状況から、歳入については「新行財政改革推進計画」に掲げている市税等自主財源の確保として市税等収納対策本部を設置し、収納体制の一層の強化を図り収納率を向上させていくとともに、企業誘致やまちの活性化の核となるまちづくり事業を積極的に展開し、自主財源の確保を図り、改善を目指す。

**■経常収支比率**  
・前年度から△0.2ポイントとなったが、類似団体より5.7ポイント上回っており、依然として高い数値となっている。「新行財政改革推進計画」に基づき、職員数の削減など人員適正化・給与制度等の徹底した見直しにより人件費が抑制されたものの、保険給付費等の増により国保事業会計及び老保事業会計など保険医療に関する事業会計への繰出金が増加したことによる。なお、18年度決算では、人件費の更なる削減などにより比率が下がった見込みである。

**■人口1人当たり人件費・物件費等決算額**  
・厳しい財政状況から、物件費等の経常経費を毎年度△10%程度抑制しており、かつ、計画を前倒して人件費の抑制を進めている。より一層スリムな行財政運営を目指し、住民負担の適正な水準を保っていく。

**■ラスパイレクス指数**  
・指数は96.1であり、類似団体と全国市平均をいずれも下回っているが、今後も更なる給与制度の適正化に努めていく。

**■人口1人当たり地方債現在高**  
・全国市町村平均、県内市町村平均よりも下回り、375,365円となっている。しかし類似団体よりも上回り、類似団体順位はやや下位に位置している。過去の都市基盤整備による多額の地方債残高があるものの、近年、普通建設事業の大幅な抑制により投資的経費に係る地方債の発行は減少傾向にあり、今後は好転していく見込みである。

**■実質公債費比率**  
・県内市町村平均より下回ったが、類似団体平均、全国市町村平均からは大きく上回っている。主に普通会計の公債費が要因であるが、普通建設事業の抑制による地方債発行額の減少により、今後は好転していく見込みである。

**■人口1,000人当たり職員数**  
・全国市町村平均、宮城県市町村平均は下回ったものの、類似団体からは上回っている。塩竈市では「定員適正化計画」に基づき、行政の守備範囲を明確にしながら必要な人員を精査し、より簡素で効率的な行政体制を確立するために、退職者不補充などを行い平成15～22年度までに職員185名削減を目標に適正化を推進している。なお、平成18年度は4月1日現在で計画より21名減となっており、現在は計画の前倒しが進んでいる。